

# 九大三景

六本松 箱崎 伊都



▷12◁

「周囲は見渡す限り 地区から道一本を隔て オープンした。自宅田んぼだった。国道2 た今宿谷の主婦、池雪 から駅周辺まで自転02号バイパスがで 子さん(65)はその変わ 車で5分。」「近くで使

いられ、87年に現在地

に家を買ったが、バイパス延伸に伴う用地買収で建て替えを強いられ、87年に現在地

流れは止まらない。な 備会社で働く國友好信 さんは「交通量が 増えて渋滞がひどくな った。にぎわいが期待 できる反面、自転車盗 が増えるなど治安は悪 化した」。

## 今宿、変わりゆく風景

き、道路が整備された りように目を見張る。 十数年前からぼつぼつ 前原市から嫁いできた 家が建ち始め、今は見 三十数年前、「カエル の鳴き声と稲穂の音し 声を弾ませた。

へ。200坪の宅地は 100坪に半減した。 そして今回、区画整理 事業の対象に。「公園 や道路整備のため『減 歩率』と称し、土地が とられる。安住の地と 決めていたのに」と嘆

市は「九大が持つブ ランドイメージを街の 魅力に生かしたい」と

大規模な区画整理が 進む九州大学伊都キャンパス近くの福岡市西 区今宿・周船寺地区。 約130軒の事業対象

秋、JR九大学研都 市駅が開業。翌春には 今宿大塚の津田英東さ ん(60)は「計画には当

対象地区の自動車整

大学と地元の連携強 代わりに手に入れた 化にも力を注ぐ。目の 前を重機が走り回り、 日に日に街が姿を変え っていく。池さんは「昔 からの風景を手放す



造成が進む九州大学伊都キャンパス。後方の今宿・周船寺地区はJRの駅ができるなど学研都市としての整備が進む

【鈴木美穂】 (おわり)